

事務事業評価シート

(H.30)No.	1080	(H.29)No.	1080
-----------	------	-----------	------

事務事業名	がん対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	健康・子育て支援室	山崎 美穂	

会計区分	事業コード	254601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	がん対策事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 成人保健事業費	がん対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施策	2	健康づくり
重点プロジェクト	3.生涯現役プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
がんの早期発見、早期治療につなげることで、がん死亡率を低下させる。
事業内容
・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がんマンモグラフィー検診は40歳以上の市民、子宮がん、乳がんエコー検診は20歳以上の市民、前立腺がん検診は55歳以上の市民を対象に、医療機関委託と集団検診によって実施。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)							
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診等の実施 ・医療機関個別検診 ・集団検診の実施 ・地域と協働で検診実施 ・受診勧奨個別通知の実施 ○精度向上の取組 ・二重読影体制の整備調整 ・要精検受診勧奨 <p>受診率実績(暫定)</p> <p>H28 H29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診: 17.0%→15.5% ・肺がん検診: 32.1%→33.7% ・大腸がん検診: 22.2%→23.3% ・乳がん検診: 23.8%→19.9% ・子宮頸がん検診: 24.7%→22.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診等の実施 ・医療機関個別検診 ・集団検診の実施 ・地域と協働で検診実施 ・受診勧奨個別通知の実施 ・託児付集団がん検診の実施 ○精度向上の取組 ・二重読影体制の整備 ・要精検受診勧奨 ・個別検診実施医療機関チェックリスト調査 ・まちじゅう元気推進協議会での専門部会を設置し、がん検診に関する協議の推進 	<p>・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がんマンモグラフィー検診は40歳以上の市民、子宮がん、乳がんエコー検診は20歳以上の市民、前立腺がん検診は55歳以上の市民を対象に、医療機関委託と集団検診によって実施。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H.31年度(事業計画)</th> <th>H.32年度(事業計画)</th> <th>H.33年度(事業計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・がん検診等の実施</td> <td>・がん検診等の実施</td> <td>・がん検診等の実施</td> </tr> </tbody> </table>	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)	・がん検診等の実施	・がん検診等の実施
H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)								
・がん検診等の実施	・がん検診等の実施	・がん検診等の実施								

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		97,689千円		108,744千円	108,744千円	108,744千円	108,744千円
内訳(千円)	国・県支出金	2,654		2,027	2,027	2,027	2,027
	地方債						
	その他(繰入金ほか)	76,874		73,302	73,302	73,302	73,302
	一般財源	0	18,161	0	33,415	33,415	33,415
人工数	職員		1.20人	1.20人	1.20人	1.20人	1.20人
	臨時職員等		1.76人	1.92人	1.92人	1.92人	1.92人
②概算人件費	0千円	10,320千円	0千円	10,608千円	10,608千円	10,608千円	10,608千円
①+②総事業費	0千円	108,009千円	0千円	119,352千円	119,352千円	119,352千円	119,352千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
節目年齢を対象とした無料クーポン配布が廃止となり、受診率への影響が懸念されていたが、生活習慣病予防重点プロジェクトによるがん予防の啓発、受診勧奨個別通知の実施、地域での集団がん検診の実施、また集団検診における先行予約個別通知等により受診率の大幅な低下は見られず、概ね維持できている。ライフステージに応じた市民の健康づくり、生活習慣病予防の取組のひとつとして、健康長寿社会の実現に貢献している。地域づくり組織と協働で地域の集団がん検診を実施している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
第3次健康なばり21計画に基づき、生活習慣病予防重点プログラム～ばりばり現役プロジェクト～の取組を推進する。29年度よりがん検診無料クーポンに代わり、受診勧奨の個別通知(世帯ごと通知)を実施し、あらゆる機会を通じて定期的受診の重要性について啓発を行うことで受診率を低下させないように取り組む。また検診受診後の精密検査の受診率を向上させるなどがん検診精度管理に取り組む。平成29年度と同様、生活習慣病予防重点プログラム～ばりばり現役プロジェクト～の取組を推進する。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
健康なばり21計画